



PICK UP  
四万十街道ひなまつり

## 町並み彩る 「おひなさま」

地域の人のおもてなし  
心が伝わる  
手作りのひなまつり



1 「日吉盆栽会」が制作した座敷雛 2 野菜も可愛いひな人形に 3 園児や小学生らが個性溢れるおひなさまを制作 4 ショーウィンドウに展示されているのは、表情豊かに描かれたおひなさまたち 5 豪華絢爛なひな飾り

「四万十街道ひなまつり」は3月19日から4月2日までの間、日吉地区で開催され、明星ヶ丘や下鍵山地区の町並みを、可愛らしいおひなさまが、華やかに彩りました。毎年大好評のこのひなまつり。今年も期間中、町内外から多くの人々が会場を訪れました。このひなまつりの見どころである明星ヶ丘に展示された座敷雛の今年のテーマは、土佐七色紙の生みの親である「新之丞」。日吉盆栽会の会員らの繊細な作業によって、和紙が出来るまでの工程が見事に表現され、訪れた人を魅了していました。また、下鍵山商店街には「いきいき茶屋」が開設され、訪れた人たちは、出迎えてくれる地元の人たちの温かいおもてなしに癒されながら、ほっと一息ついていました。

## 柚鬼媛まつり& しいたけまつり

しいたけまつり



1 椎茸植菌体験をする来場者  
2 軽快な餅つき 3 鬼北の町並みを颯爽と駆け抜ける  
4 柚鬼媛と記念撮影するサイクリスト



期間中の19日、日吉産地で「柚鬼媛まつり&しいたけまつり」が開催されました。会場では、しいたけの植菌体験や原木の販売などを実施。さらに、鬼北の特産品や地元で採れた食材を使用したグルメがずらりと並び、訪れた人たちは、お目当ての品を買い求め、家族や友人たちと鬼北の味を堪能していました。そして、この日は「ひな祭りサイクリング」も開催され、折り返し地点となっていた日吉産地には続々とサイクリストたちが到着。会場に並んだ鬼北の味と、町並みを彩る可愛らしいおひなさまが、参加者たちの疲れた身体を癒していました。